

2025 年度入学式 式辞

新入生の皆さん、神奈川大学および神奈川大学大学院へのご入学、誠におめでとうございます。皆さんはもちろん、ご家族およびご関係の皆様のお喜びもひとしおのことと存じます。神奈川大学のすべての教職員、そして1万3千人を超えるすべての在學生は、新入生の皆さんを心より歓迎いたします。

さて、皆さんが入学された神奈川大学はどのような大学なのか、ここで改めてご紹介したいと思います。本学の創立者は愛媛県の内子町出身の米田吉盛先生であります。この創立者の米田吉盛先生が、横浜で働く勤労青年の旺盛な勉学意欲に応えるために、1928 年横浜桜木町に本学の前身である横浜学院を創立したことで、本学はその歴史の歩みを始めています。創立が 1928 年ですから、3年後の 2028 年には創立 100 周年を迎えることについては、新入生の皆さんには、ぜひ心に留めておいて欲しいと思います。

また、本学はその歩みを進めるにあたり、米田吉盛先生の言葉である「教育は人を造るにあり」の教えを胸に、これまで約一世紀の永きにわたり、教育重視の伝統を堅持してまいりました。先に述べましたように、元々本学は、厳しい環境においても必死に勉学を続ける若者の成長を、教育により全力で応援する伝統を有しています。かつて本学が掲げた「成長支援第一主義」は、実は創立から現在まで変わらない、学生の皆さんに対する本学の教職員が有する基本的姿勢を示すもののなのです。

以上のような点に加え、さらに次のような点についても知っていただきたいと思います。先に述べましたように、1928 年に桜木町で本学の前身の横浜学院が開設された後、その翌年の 1929 年に旧制の横浜専門学校に、さらに戦後 1949 年に学制改革により、いよいよ現在の神奈川大学が誕生します。2021 年にはみなとみらいキャンパスが開設され、2023 年には横浜エリアに全 11 学部、そして大学院の8研究科が集結する

ことになりました。現在、神奈川大学は横浜の地において、白楽にある横浜キャンパスと、みなとみらいにあるみなとみらいキャンパスの、2キャンパス体制をとっています。新入生の皆様は、入学する学部あるいは研究科のあるキャンパスで過ごす時間が長くなると思いますが、ぜひもう一つのキャンパスにも足を運んでいただきたいと思います。ちなみに両キャンパスは、乗り換えなしの電車でたった4、5駅ほどで行き来できることも申し添えておきます。

このように、神奈川大学は97年の歴史を持つ、日本でも有数の総合大学です。現在、日本には約800の4年制大学がありますが、その中で学生数は14番目、卒業生の数では16番目になる大規模大学なのです。改めて、神奈川大学は、日本有数の歴史ある総合大学であることを、新入生の皆さんには知っていただきたいと思います。

さらに、新入生の皆様に教育を施す教員の優秀性についても触れたいと思います。本学には、世界的な評価基準に照らしても、優秀と見なされる教員が多数存在していることが、イギリスの高等教育情報誌等で証明されています。先に述べましたように、神奈川大学は教育重視の伝統を有していますが、本学における教育は、こうした、世界からも評価される研究者教員により行われていることになります。教育自体は、実はどのような組織あるいは空間・場所においても可能です。しかし、大学における教育がある種特別なのは、教員が教育者であるとともに研究者でもあるということです。大学における教育は、研究者教員が各自心血を注いだ研究およびその研究成果の基盤の上に行われていることを、ぜひ新入生の皆さんには知って欲しいと思います。

そうなのです、大学における教育・学びとは、実は特別なものなのです。この点について、少し付言しておきたいと思います。かつて、米国の政治哲学者フランシス・フクヤマ氏は、「歴史の終わり」と題した論文において、これまで人類を支配してきたイデオロギー、つまり政治思想に基づく血で血を洗う争いの歴史は終わった、自由と言う根本理念に基づく近代民主主義という政治体制こそ、すべての社会が最終的に到達すべき「終わり」の政治体制となる、と説きました。フクヤマ氏の言説は、その後のベルリンの壁

崩壊、ソビエト連邦の解体等、第2次世界大戦後の世界を二分した民主主義と社会主義の争いが、民主主義の勝利で幕を閉じることにより、少なくとも当時は、いかにも裏書されたかのように感じられたものです。

しかしながら、皆さん、現代の世界情勢が、自由を根本理念とした民主主義が隅々まで浸透した、争いのない平和な世界になっていると思いますか？ 世界中の現在進行形で起こっている紛争や緊張状態を見ると、とてもそんなことは言えないのではないのでしょうか。フランシス・フクヤマ氏の言説に対し、文化勲章も受章された日本の著名な経済思想家の岩井克人氏は、次のように主張しておられます。個人の自由を最低限確保してくれる政治体制である近代民主主義は、そう、議論と合意に時間がかかり、ときに退屈で鬱陶しくも感じるこの近代民主主義は、自然にそこにあるものではなく、明日にでも外部あるいは内部から簡単に奪われてしまうかもしれない脆弱な制度であり、フクヤマ氏が説くような必然的に到達する「歴史の終わり」では決してなく、我々自身が必死に、そして不断に目指し続けなければならない「歴史の目的」なのだと。

なお、岩井克人氏は、我が神奈川大学の特別招聘教授でもあります。岩井先生には、全学学生向けの講演会も定期的にご利用いただいております。こういった講演会や学内講義等で、例えば「自由とはなにか」「歴史とはなにか」について、まさに「自由」に考えてみる事ができるのも、大学における、いや大学においてしかできない特別な学びと言えるでしょう。

最後になりますが、新入生の皆さんが、「人を造る」大学である我が神奈川大学において、おおいに学びまた研究し、実り多い学生・大学院生生活を過ごすことにより、おおいに成長されんことを、心より祈念して、私からの式辞といたします。

2025 年4月3日

神奈川大学長 戸田龍介